



Next Tourism Summit 2023

Talk Session 01

**観光DX事例から学ぶ地域が稼げる
仕組みづくりと取り組むべきプロセス**



豊岡観光DX推進協議会部会長
株式会社西村屋常務取締役

池上 桂一郎氏

慶應義塾大学環境情報学部卒。

在学中の1996年、学内発のウェブマーケティング企業立ち上げに取締役として参画。

大手広告代理店、調査会社との協業に尽力。

2007年より城崎温泉の旅館・西村屋のIT担当室長として社内外の情報化とインバウンド対策に取り組む。

2015年より現職。





まんなかの家

まんなかの家



株式会社博報堂ケトル チーフプロデューサー
Qualities 創刊編集長

日野 昌暢氏

2000年九州芸術工科大学 芸術工学府 生活環境専攻修了。

同年4月に博報堂入社。2014年よりケトルに加入。

「本質的な地域活性」をマイテーマに、“外から目線”で地域資産を再編集し、地域のプレイヤーの“関わりしろ”を作りながら、事業・プロジェクト・プロダクトを共創したうえでの情報発信を得意とする通称“ローカルおじさん”。

主な受賞歴に、2度のACC TOKYO CREATIVITY AWARD グランプリ

(2018,2022)、グッドデザイン賞BEST100 (2022)、Spikes Asia ゴールド (2019)、カンヌライオンズブロンズ (2013,2019)、ADFESTゴールド (2019) など。





Locatone



観光庁 観光地域振興部 観光資源課
新コンテンツ開発推進室 専門官

秋本 純一氏

観光庁において、観光地における消費額増加や体験価値向上を目指し、観光DX事業の推進を担当。



ブランコ株式会社 CEO/CCO
クリエイティブディレクター

山田 泰弘氏

インテリアデザイナー、建築現場監督、建築営業マンを経て、2006年にデザイン会社ブランコ株式会社を設立。企業ブランディングを軸に、ウェブデザイン、グラフィックデザインを強みに事業を拡大している。また、福岡IT・クリエイティブコミュニティの中心人物の1人として、2011年に明星和楽の立ち上げ、Fukuoka Growth Nextのブランドマネージャーなどを歴任し、現在に至る。

fgn.



Question

地域が稼げる仕組みづくりと
取り組むべきプロセスとは？

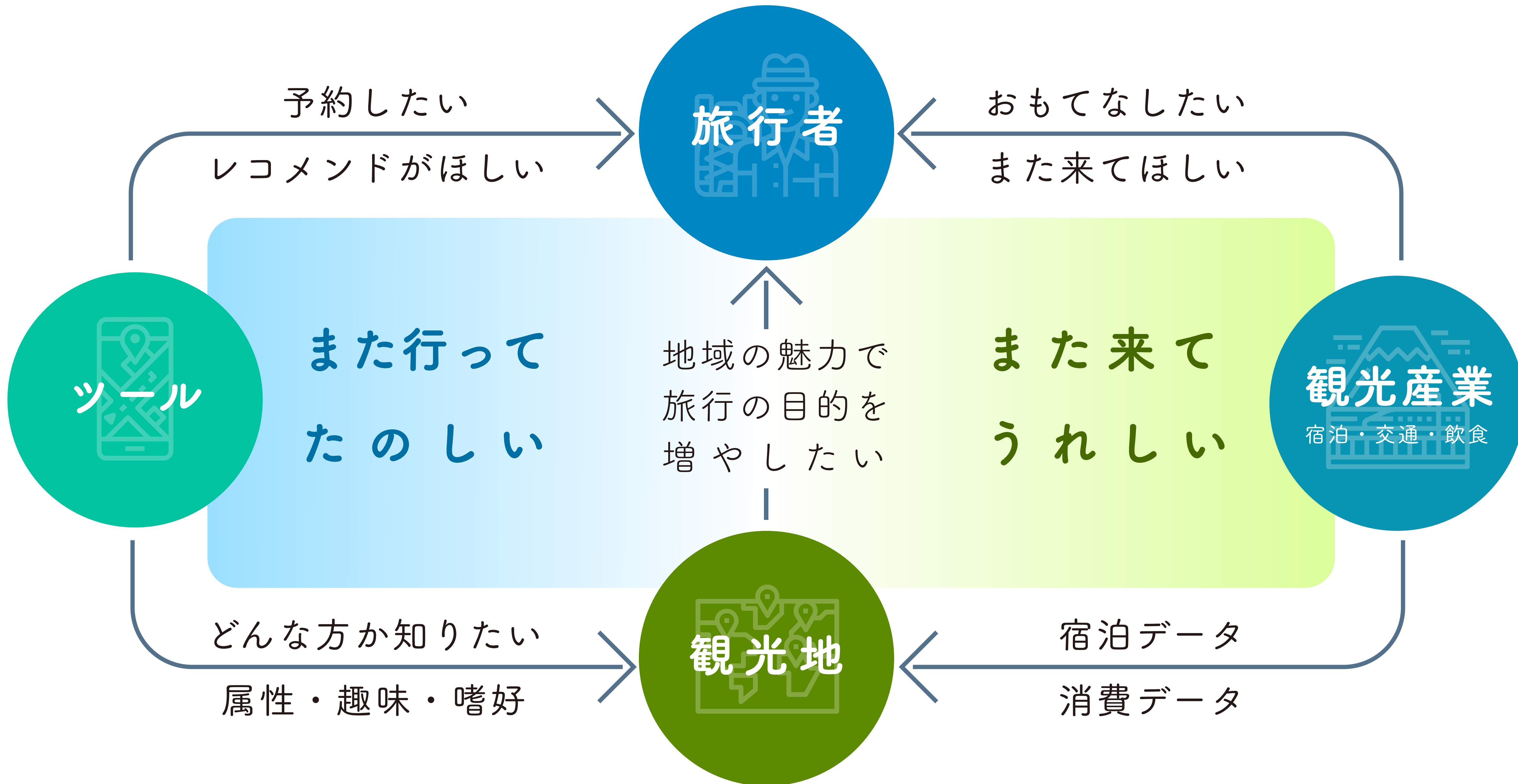


行ってたのしい



来てうれしい





域内観光GDP

=

入込
客数

×

宿泊
日数

×

単価

×

訪問
頻度

×

域内
循環率

Question

城崎温泉はどこが大事ですか？

域内観光GDP =

入込
客数

×

宿泊
日数

×

単価

×

訪問
頻度

×

域内
循環率

Answer

本日お伝えしたいこと

旅行者の属性や
趣味・嗜好等のデータ

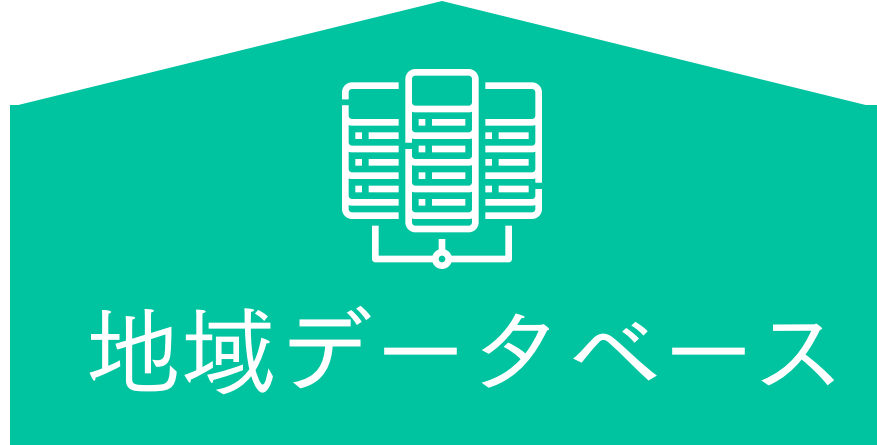
宿泊の予約・実績や
消費データの蓄積



旅行者の利便性
向上・周遊促進

観光産業の
生産性向上

サービス開発・向上
リピート化・消費額増加



観光地マーケティング
レベニューマネジメント支援

観光地経営の
高度化

デジタルを活用した
旅行者へのアプローチ

デジタル人材による観光地経営の高度化

デジタルを活用した
生産性向上へのアプローチ強化

観光デジタル人材の
育成・活用